

















如き一見明白にして疑義を

ならず  
然も  
す事は之れを他日に譲るべし  
なしたり日西海日

**商業登記公告**  
 式部省官報第...  
 大正八年五月...

**最新刊**  
 新刊日英會話  
 新刊日露會話

**大阪屋號**  
 一町本城  
 新刊日英會話

**京日案内**  
 新刊日英會話  
 新刊日露會話

**給仕至採用**  
 大正八年五月...

**藥局生 看護婦募集**  
 田中...

**外勤社員招聘**  
 大正八年五月...

**古ミシン高價買入**  
 大正八年五月...











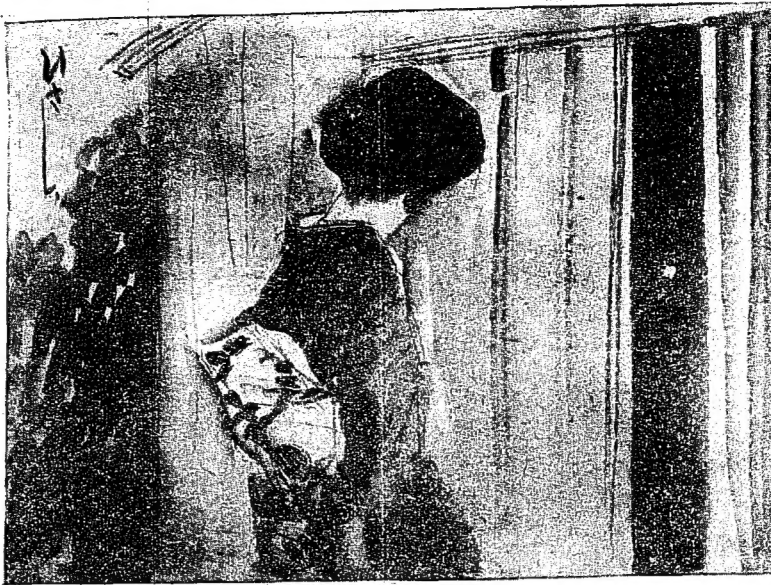
みだれ咲き

水咲

所に養ふる子、多くなりなます。  
 へ砂、順調に油をさすのですが、太  
 る人、養ふて連成でウツで、  
 めの野菜を、順切にして一膳に  
 と、逆造にもなりおいしく、  
 す、これは十分に養つて汁の  
 なる迄に致します。

我等の俳句

一、一度、送交、契合、を、  
 大、工、一、耕、植、の下、の、月、に、  
 年、に、か、ら、民、下、て、  
 歳、が、脱、  
 月、に、来、  
 小、母、子、君、  
 顔、し、ど、ろ

[illegible][illegible]

かるから、一時早く建つてくれ、  
 腕りに温かき言葉が響き度かつた  
 事實が否かは判らぬが、思はしき  
 風情が立つたに因て我家を去るに  
 決し、母と、冷たい隔ての垣を外し  
 た言訢が交したかつた。  
 『御容顔では無いだらうか』  
 館の晩に邸の周圍を迂迴付いて  
 見たと云ふのに、斯うして大なる  
 形骸な用事があるに違ひ無い、  
 彼等が解受取つた封緘郵便には、  
 晩、早稲田の穴八郎で會見したい  
 と記してあつた、斯う思ふと操子  
 は彼の事なぞを顧慮する心の餘  
 裕が無くなつてしまつた。  
 『ちも、徳川なその間に留まつた  
 ら私邸を借れば宜い！』  
 一時早く母に逢ひ度い彼の女  
 は、理徳の二字をまつて庭へ降り  
 を降した。  
 誰か居る者がありませ  
 ぬ、牧野は太いタイヤの破履を  
 穿てながら、操子の方へは腰  
 膝に上つて、  
 『いろいろ心配を掛けて清  
 こねね』  
 操子は三尺の戸が閉け放  
 らぬ小戸の入口へ眼を注  
 げ、  
 『誰かがお入りにな  
 りなすから、心配をな  
 いでお入りなさい』  
 牧野は依然として笊の手  
 しながら獨り語のやうに云  
 へば、  
 『此の厚意は忘れないうわ』  
 操子はツカ／＼小戸の  
 戸を閉めて、  
 『母様……』  
 薄暗い物置の中を透す月光  
 下に散いてある、一枚の雄の  
 情熱として坐つて居る母親  
 を発見した。

[illegible][illegible]

## 淋病患者の福音

水陰下

初夏のお化粧

◆薄化粧ならこうして  
◆手数の恐らぬ粉化粧

お化粧が盛んになつてまゐりましたに就て、  
お化粧も薄化粧が好まれます。薄化粧には一  
般水白粉が使はれますが、この水白粉は盛粧  
御選擇になりません。薄化粧美の本來たる  
上品さがなく、又、水白粉のこの混合や粗品  
の爲め、却つてお顔を荒したり致します。レ  
ート水白粉はそんな欠點を充分研究して製へ  
たもので、ムシから、附けた白さのボーツ  
ミ浮き出す具合は、盛さらしくなく自然に美  
くしく上品でムシです。其上新美客者が他位  
であるので、お顔の脂肪や荒れを留めて肌  
を細やかに皮膚をまかに整します。尚、御使  
用の節レートデエリーを下地に引いて置いては  
一層鮮美なお化粧になります。それから  
汗を留め手軽に美しく出来る薄化粧はク  
リームレートを下地に引いた上へ、レート粉

いまだち  
今更申す迄もなく、レートの粉麝香化粧を  
て、三題のお化粧で常に質險され、評判で  
いすまから、既に御承知の事と思ひます。

本舖 東洋  
大坂 平尾 資平 商店

神經衰弱 生殖器病 患に急務  
 忍るべき手足の痺電の爲に人生最大の幸福を失  
 ひ發育不完全、早漏、夢精、陰萎、にステリ  
 ー等、苦む方は至急本院に出込まれるは生殖  
 器病専門陽春堂病院院長が多年苦心研究の結  
 果發見せられたる専門藥ノイラ説明書郵送す  
 ノイラの神秘的なる藥効は既に社會一般の知  
 る處なり前述の容體と苦悶する方は至急本  
 劑を服用と再生を期せし詳細は説明書あり  
 藥價 十四日分三圓二錢一ヶ月分七圓二ヶ月分三圓  
 五錢  
 其神效三錢時  
 二丁目一寄道  
 日本六四六番  
 電話二二九番

純良の藥品と賣藥が揃つて居ます  
 〆〆〆化粧品代理店ですから  
 〆御値が安いです  
 〆泉城本町二丁目  
 〆丁度大目化す

陽春堂藥院

**優等清酒**

廣島縣西條町  
釀造元賀茂備酒造  
株式會社

京城府鍾路公事所  
發賣元河野酒店

電話二〇〇六號

京都山京電路五、四番

中桐鑄工場  
中桐岩吉

諸機械土木  
建築用一切物

▲多少に不拘別用金銀銅鐵

古物賣付

電話一〇二三番 藤七三主

法蘭西  
 半額割戻  
 及割引  
 賣出開始  
 一賣出期間 五月一日より五月三十日迄二十日間  
 一割戻法 地方より前金にて御注文に限り（代金引換  
 の御注文を除く）普通郵便便に  
 一引戻の引戻率の表は各品に核當せるもの（例へば  
 十五割戻十五割百二十十五割の如き）に對し郵便所にて  
 爲付有るものたる者（割戻の付しあるもの）を便所へ携  
 帶し將求むる代價の半額に相當する代理店發賣の品は  
 何品にも不服即時呈可致候の御引に相當する代理店發賣の品は  
 引割戻法に代りて之を定直並に御引の上御買上に對しては  
 引割戻法に代りて之を定直並に御引の上御買上に對しては  
 品を納め可仕候る賣出は引戻後は絕對に中止可致此様稿  
 を即時御引取の程願上候

大正二十四年四月

[illegible]